

平成 22 年度 呼吸器 WG の活動報告

1. 呼吸器 WG の国際メンバーの確定

呼吸器 WG は国際メンバーの WHO による承認が遅れていたが、電話会議の後、2011 年 1 月 13 日に Chair である Prof. Ingbar から正式に WHO へメンバーの提出が行われた。さらに日本大学の橋本修先生が Co-chair として WHO の承認をうけ、また Prof. Ingbar からの提案で、米国の呼吸器学会である ATS, ACCP から coding 業務に関わっている 2 名も追加された。

2. 呼吸器 WG からの構造提案の進捗状況

日本呼吸器学会 ICD-11 検討委員会、理事会の承認を経て、1 月末に本邦からの ICD-11 の呼吸器分野における draft を作成した。これを 2 月初めに Prof. Ingbar と IM-TAG Managing editor の Megan Cumerlato 氏に送付した。今後はこれをもとに国際メンバーで検討する予定である。

(呼吸器 WG ICD 専門委員)

東京女子医科大学第一内科 近藤 光子